

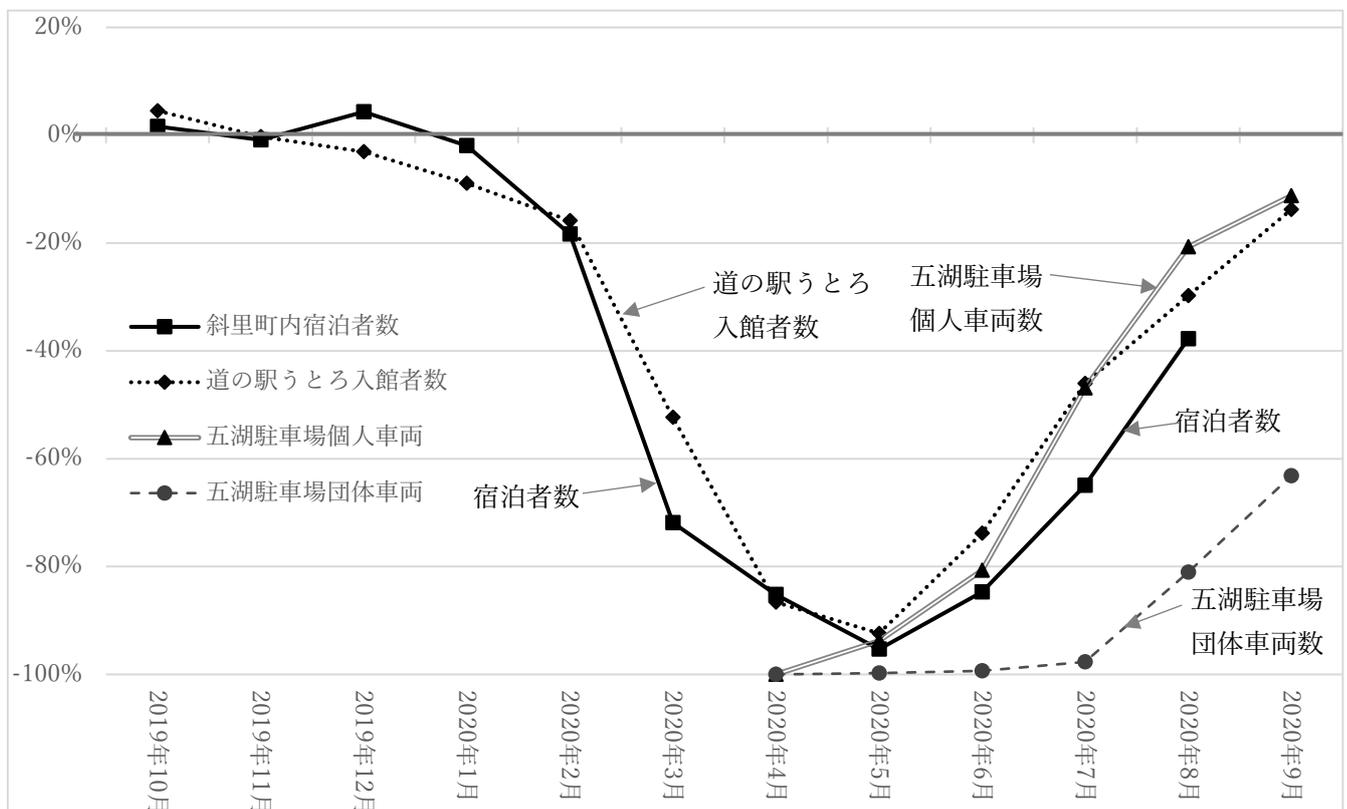
## コロナ禍の知床観光の現状について

## コロナ禍による斜里町観光への影響と対策事業

## 1. コロナウイルスの影響を受けての観光の状況

- ・本年 2 月下旬以降、観光客は大幅に減少し、9 月末までに前年比で 19 万人泊相当の宿泊需要が失われた。観光消費額でいえば、日帰り需要と併せ、60 億円以上の消費が消失したものと試算される。
- ・それでも、5 月を底に回復傾向にある。10 月には前年並みとなる見込みであり、11～1 月は、地元需要や GoTo 需要に支えられ、例年と同等以上となる可能性が高い。
- ・道内の他地区と比べても、比較的順調な回復をしているものと思われる。
- ・団体ツアーバスの回復は遅れているが、修学旅行は例年以上の受け入れとなっている。
- ・外国人観光客は皆減であり、外国人比率の高い 2 月の入込にどのように影響するかが今後の不安・懸念要素となっている。
- ・多くの観光事業は、この間、当面の手持ち資金・運転資金を確保するために、多額の融資を受けて、この難局を切り抜けてきている。経営的には、今後数年以上にわたって、厳しい状況は続くものと思われる。
- ・道内や首都圏での感染拡大状況によっては、再び低迷する恐れもあり、引き続き予断を許さない状況は続いている。

&lt;主要観光指標の前年同月比較&gt;



## 2. 町内で実施された/実施したい取り組み（斜里町での主な経済対策）

項目	予算	概要
(1) 給付金		
小規模事業者緊急経営支援給付金	1,040 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年年商 6,000 万円以下、観光業など 7 業種、3～6 月売上減少率△20-50%の事業者に 20～60 万円を給付</li> <li>・経産省持続化給付金との接続事業</li> <li>・34 者、1,040 万円分の給付で終了済</li> </ul>
特定事業者緊急経営支援給付金	3,000 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊業・飲食サービス業・観光関連サービス業（観光船・ガイド・土産販売等）、7～9 月売上減少率△50%以下の事業者に 5 万～60 万円を給付</li> <li>・100 社程度への給付を予定</li> </ul>
(2) 経費節減支援		
上下水道料金免除	3,045 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業用・団体用区分の 7～9 月請求分上下水道料金を全額免除</li> <li>・3,045 万円分免除で終了済み</li> </ul>
ウィズコロナ対策支援	2,800 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊業・飲食サービス業・観光関連サービス業（観光船・ガイド・土産販売等）のコロナ対策経費として、施設規模・業種に応じて 1 者あたり 5 万円～280 万円を支援</li> </ul>
(3) 需要喚起策		
町民特別宿泊飲食券	2,000 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内宿泊券 4,000 万円分を販売し、購入額の 50%分の町内飲食券（2,000 万円分）を付与</li> </ul>
アクティビティークーポン発行	2,060 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 万円分のアクティビティークーポンを 5 千円で 1,000 セット販売（500 万円+事務費 30 万円）</li> <li>・連泊者に 3,000 円分のアクティビティークーポンを贈呈。5,000 セット配布。（1,500 万円+事務費 30 万円）</li> </ul>
(4) その他		
公共交通・交通事業者支援	780 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスとハイヤー事業者への運行支援</li> </ul>
事業系ごみ組合支援	430 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウトロ地区のごみ処理費の支援</li> </ul>
特産品ギフト開発支援	500 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品ギフトセット開発支援と町民割引販売</li> </ul>
提案型事業支援	600 万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己提案型事業支援。補助率 80%</li> </ul>

### 3. 今後の観光に関する方針

#### (1) コロナ対策統一ツールの配布

- ・10 数種類のコロナ対策統一シールを作成し、6 月中旬以降、町内の飲食店、小売店、宿泊施設、公共施設などに配布し、積極的に活用されている。
- ・地域全体でコロナ対策に取り組んでいることをわかりやすく発信しつつ、旅行者を気持ちよく受け入れる姿勢（コロナストレスの低減）を示している。また、デザインに留意することで、ブランディング（他地域との差別化）も意図している。



#### (2) 中長期的な観光戦略の方向性

- ・現在のところ、基本的な方向性の修正は必要ないものと考えている。（個人型シフト、滞在・体験重視、イベント依存脱却、ターゲット世代引き下げ、インバウンド比率抑制、ブランディング戦略、テレワーカー受け入れ、企業連携など。）

コロナ禍の知床観光の現状について

## コロナ禍による羅臼町観光への影響と対策事業

### 1. コロナウイルスの影響を受けての観光の現状

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、羅臼町へ訪れる観光客の人数は観光繁忙期終盤に差し掛かった現在においても前年に比べて半数以下となっている。

羅臼観光の主要コンテンツとなっているホエールウォッチングについては、営業を再開した 6 月以降の乗船者数は前年の 5 割程の人数で、内訳としては個人客が 9 割である。団体客が減少した理由としては、感染拡大防止のためのツアーへの参加自粛や、ツアー自体の中止が原因と考えられる。

交通量調査の結果では、前年と比較し、全体的に釧路、道内ナンバーが増加し、道外ナンバーは減少している。しかし、7 月、8 月は今年度の春先に比べると道内、道外ナンバーの来町数は増加傾向にあり、観光支援施策であるどうみん割や GOTO トラベルキャンペーンを活用して個人客が増加したと考えられる。

### 2. 町内で実施された取り組み

#### ○ 観光拠点における消毒

大型連休等の繁忙期には観光拠点となる道の駅の清掃回数を増やし、都度、次亜塩素酸水を用いて消毒を行っている。

#### ○ 羅臼町新型コロナウイルス感染症対策臨時給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響による消費の落ち込み等により、業績が悪化している町内の法人又は個人事業者の内、特に影響の大きい飲食店事業者、宿泊事業者、観光事業者に対して、経営の安定及び事業の継続を目的とした緊急的な支援として給付金を交付した。

対 象：観光事業者、飲食店事業者、宿泊事業者

給付額：一律 30 万円

予 算：22,550 千円（専決処分、5 月臨時会で補正）

66 事業者 19,800 千円で終了。

#### ○ 「新型コロナウイルス感染症対策地域消費応援」プレミアム付商品券事業

新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延したことにより、低迷した地域経済への影響を緩和、地域における消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券を発行・販売する。

対 象：羅臼町民

口 数：一次販売 一口1万円 一世帯3口まで  
二時販売 一口1万円 一人20口まで

予 算：20,000千円（6月定例会で補正）

現在販売終了

#### ○新型コロナウイルス感染症予防対策「使い捨てマスクホルダー」配布事業

対 象：飲食業36店、宿泊業22店

印刷数：30,000枚 ※初回配布数23,200枚（1事業者400枚×58件）

予 算：200千円 ※地方創生臨時交付金による「新型コロナウイルス感染予防対策支援事業」の7,500千円の内、200千円を充てた。

現在4,000枚近くの在庫を保有。随時希望する事業者へ提供している。

#### ○羅臼町新型コロナウイルス感染予防対策補助金

不特定多数の顧客に対し、商品の販売、サービス等の接客を行う店舗及び事務所を町内に有する事業者を対象に、新型コロナウイルス感染症の予防対策に必要な物品の導入を促進するための支援を行っている。

申請期間は7月21日～9月30日の間で、1事業者に対し上限5万円の補助を行う。

現在、観光事業者を始めとして35件の申請を受け、1,569千円の補助を予定している

（10/1時点）

対 象：飲食店事業者、宿泊事業者、観光事業者等

※不特定多数の顧客に対し商品販売、サービス等接客を行う事業者

予 算：7,520千円（7月臨時会で補正）

※9月30日で交付申請受付終了。

#### ○羅臼町水産物調整保管補助金交付事業

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う消費の落ち込みによる、水産物の需要停滞と過剰供給に対し、流通を促し水産業の安定を図ることを目的として、町内各事業者が水産物保管量を調整するために、営業倉庫等を利用した際の入出庫料、及び保管料の一部を補助する。

対 象：町内に住所を有する水産加工事業者。

予 算：23,000千円

現在申請受付中

### ○地域産業活性化補助金事業

新型コロナウイルス禍を受け、経済活動が低迷している中の取り組みとして町内飲食店の新たな利用形態の定着を目的とした事業展開として、出前、テイクアウトの利用形態を推進・定着を図る。

事業名：町内飲食店業界活性化事業

実施主体：羅臼町飲食店業界活性化実行委員会

町補助金【239,000円】概算払い

6月30日をもって当事業のテイクアウト・出前の企画は終了。

### 3. 今後の観光の方針

- ・事業者と連携をとり、感染予防対策を引き続き行いながら次年度以降に向けて観光誘致を行っていく。
- ・今後、東京圏や外国からの観光客の増加が予想される中で、宿泊施設などの受入れ側である事業者の声も聞き取り、対応することで不安を軽減させる。(観光協会)
- ・町内の感染予防対策の普及啓発をし続け、またそれを発信し、観光客が安心して旅行に来られる環境づくりを行う。